

がん化学療法看護チーム

2019年がんの罹患数は99万人と言われ、国民の2人に1人ががんに罹患するといわれています。当院においても多くの患者さんががん薬物療法を受けられています。とくに近年においては新規の薬剤（免疫チェックポイント阻害薬）の登場で治療中の副作用や困りごとは多様化しています。

がん薬物療法を受ける患者さんは治療によるさまざまな副作用が伴うことでの身体的な苦痛、仕事と治療の両立、治療費に関する心配事などの社会的側面の問題、長期間の治療に伴う気分の落ち込みや治療への不安など心理的側面の問題などを抱えています。治療の場は入院だけでなく通院治療もあります。さまざまな状況におかれた患者さんが安全に、安楽にがん薬物療法を受けていただけるように、化学療法看護に関する専門的知識、技術の向上を図り、看護の質の向上のための活動を行っています。

チームメンバーであるリンクナースは所属している部署で化学療法看護におけるリーダーシップが発揮できるよう、チーム会では問題解決に向けた活発なディスカッションを行っています。

◆ 主な活動内容

1. 当院におけるがん薬物療法看護の充実を目指し、専門的知識を習得し看護実践する

- ◇ 薬剤特性を理解した安全な投与管理
- ◇ 症状マネジメントとセルフケア支援
- ◇ 患者さんやご家族の心理・社会的支援
- ◇ 治療過程における意思決定支援
- ◇ 化学療法に関するマニュアル・パンフレットの作成

2. がん看護に関する院内の教育啓蒙活動を行う

3. 多職種と協働し、安全で安楽な治療環境作りを行う



◆ チーム構成メンバー

- ☆ がん薬物療法看護認定看護師2名を中心に
- 化学療法が行われる外来、病棟看護師12名
- ☆ 2ヶ月に1回開催

実際に作成している
パンフレット



患者さん・ご家族の方へ

がん薬物療法中は患者さんによってさまざまな状況にあります。身体的なつらさだけでなく、心理的なつらさも伴うことがあります。治療や副作用症状についての困りごとや心配事があればいつでもご相談ください。